

4 - 9 きのこと類

（１）形態観察

- ・ 色、形状、大きさを観察する。
 - ・ 根本から傘の方向へ並列する線状構造があるか観察する。
- ※写真は記載された光学倍率での観察像を示しており、写真から算出される大きさは保証しない

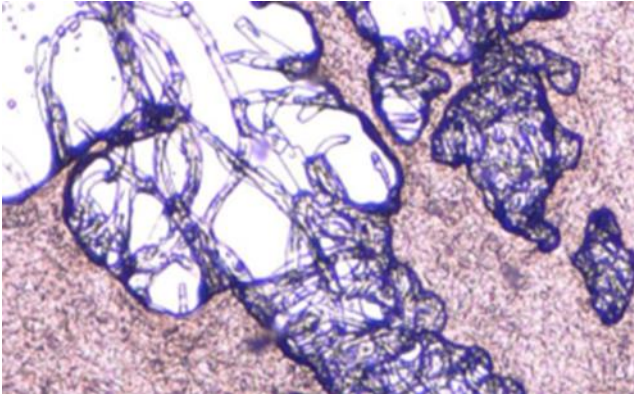


写真1 シイタケ（×1500・透過・スライド）



写真2 エノキ（×200・透過・スライド）

（２）簡易分析

- 刃物（カミソリ等）による切断、挿入切断、挿入
 - ・ 切断・挿入可能だが、乾燥すると硬くなる。
 - ・ きのは水分を多く含むが、収穫後は表面から蒸散するため、乾燥しやすい。
- 水との反応
 - ・ 乾燥している場合、吸水すると軟化する。

（３）機器分析

- ・ 実施しない。

（４）異物鑑定のポイント

- ・ 外観観察により菌糸が確認される。

（５）異物混入事例

- ・ 硬い石づきの混入
- ・ 石づきや傘に菌糸が付着することがある。（気中菌糸の発生→カビの分析方法）
- ・ 劣化したしいたけからムレ臭がすることがある。（異臭の分析方法）
- ・ 収穫後日数が経つとヒダが変色することがある。

（６）好ましくない外観変化

○きのこは食材として扱われる段階でも生きている。そのため、時間経過とともに生理化学的变化が生じ、傘が開く、伸長するなどの外観変化が見られる

- 胞子の飛散
包装後に容器内できのこが胞子を飛ばすと、白い粉が付着しているように見える。
- 乾燥
きのこはほぼ水分から成るが、表面にワックスを含まないため、水分を蒸散しやすい。特に収穫後は水分供給がなくなるため、萎れて重量が減少する。
- 褐変
色調が褐色に変化する。貯蔵温度が高いほど全体が褐変する。
- 気中菌糸
きのこの傘部分などから菌糸が伸びる。

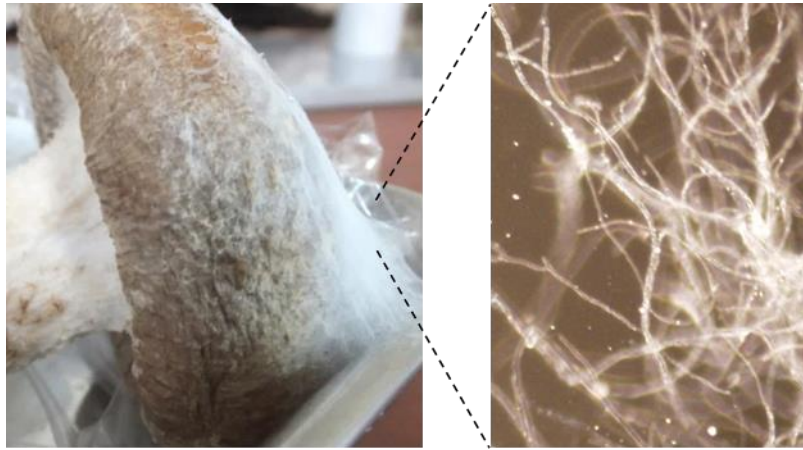


写真3 気中菌糸の一例